

2021年 図書館だより



7月 Tenri High School Library

★図書館で放課後、自習・読書する時に、以下の事に注意して、利用してください。

- ① カバンは入口のカバン置き場に置いて、館内に持ち込まない。
- ② 館内には、貴重品、勉強道具のみ持ち込んでください。(飲み物・食べ物は持ち込まないでください。)
- ③ 学年・クラス・氏名・使用開始時間を所定の用紙に記入してから、利用してください。

★今月も1年生図書委員からのおすすめ本を紹介します。

★コンクールに応募してみませんか？

「読書感想文」「読書体験記」「一行大賞」などの、コンクールに参加してみませんか？自分の思いを文章にすることは、論理的に考える練習になります。ぜひ、「チカラ試し」をしてみてください。

1年生図書委員からの

おすすめ

本

『小説の神様』 相沢 沙呼 著 講談社



【あらすじ】

文芸部に所属している売れない高校生作家の前に、ある時人気作家が現れた。「小説は好きですか？」という主人公の一言から物語が始まる。そして小説を書くことに人生を賭ける不器用な高校生作家二人が合作に挑む。二人の前にはたくさんの困難が立ちちはだかる。気になる合作の行方は？

【おすすめポイント】

この本は「ブックログ」「読書メーター」で第1位になりました。最近では、映画にもなっていて、老若男女楽しめて、誰もが感情をかき回される1冊だと思います。本を読むのが好きでない人でも、共感しやすく、気軽に読める本です。今、現実のしんどさに押しつぶされそうになっている人は、この物語の優しさに触れて、希望を持ってほしいです。私のように、前向きな気持ちになれると思います。

『九月の恋と出会うまで』 松尾 由美 著 双葉社



【あらすじ】

ひよんなことからマンションへ引っ越した志織。ある日、部屋の壁の穴から不思議な声を聞いた。声の主は、1年後の平野進だと言う。平野とは、隣の部屋に住むサラリーマンだった。さらに未来の平野は志織に、自分を尾行してほしいと頼んでくる。何故、そんな依頼をしてくるのか、疑問でいっぱい。その依頼には、驚くべき理由が隠されていた。

【おすすめポイント】

恋愛小説と思って読んでみると、ミステリー小説なのかと思ひ始め、次に「この2人が!？」となり、そこからがすごく面白くなります。また、癖が強い登場人物が多いのも引き込まれる要因です。この話は映画化されていて、川口春奈さん、高橋一生さんが出演して話題となりました。時空を超えた男女の物語です。最後まで飽きずに読めると思います！

『また同じ夢を見ていた』 住野 よる 著 双葉社



【あらすじ】

主人公の小学生小柳奈ノ花。自分は賢く、まわりの同級生の事を馬鹿にしていた。学校には友達はいなくて、唯一の話し相手はネコ。このネコとの出会いが、様々な過去を持つ人達と結びつけ、「幸せとは何か」を探す、不思議な物語。

【おすすめポイント】

「人生とは」が口癖の主人公の性格はとても大人びているのですが、時には小学生だなあと思う可愛い一面もあり、そのギャップがおもしろいです。様々な過去を持つ人々の話は、悲しい気持ちになりますが、この人たちの出会いが奈ノ花の人生を前向きなものにして、手助けしています。作者の住野さんは、私が好きな作家さんです。読みだすと止まらないと思います。

第67回青少年読書感想文コンクール

締切 令和3年10月1日(金) 必着
校内締切 令和3年9月6日(月)

注意事項 ・対象書籍は、マンガ、電子書籍以外の本。
・字数は1801字から2000字以内

他にも応募できるコンクールがありますので、詳しく知りたい人は図書館カウンターに、お尋ねください！



コンクールに、応募してみませんか？

第41回高校生読書体験記コンクール

単なる感想文ではなく、読書をすることで始まった自分の内面や生活の変化、読後に起きた様々な変化を、自ら見届けるような「体験記」を書いてください。

締切 令和3年9月30日(木) (当日消印有効)
校内締切 令和3年9月6日(月)

注意事項 ・どのようなジャンルの本でもよい。(マンガ、絵本も可)
・400字詰めたて書き原稿用紙5枚
・作品は、未発表でオリジナル

新潮文庫第9回中高生のためのワタシの一行大賞

対象図書の中から、あなたの心に深く残った「一行」を選び、なぜその一行を選んだのかを100~400文字で書いてください。あらすじの紹介や、作品を解説するような読書感想文ではなく、できるだけ自分の「想い」や「エピソード」を書いてください。

*ここでいう「一行」は、字義通りの一行ではなく「一文」もしくは「ひとかたまりの意味をもった言葉の連なり」という意味です。

締切 令和3年9月30日(木) (当日消印有効)
校内締切 令和3年9月6日(月)

対象図書 「高校生に読んで欲しい50冊」
「新潮文庫の100冊」選定作品